

平成29年度
裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン
実績報告書

平成30年6月
裾野市

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット	
1 「住みたいまち裾野」のまちづくり “共生”	1 裾野市らしいデザインのまちすその	1 地区の強みを活かしたまちづくりの推進	1 総合計画や各種基幹計画の着実な推進	1 総合計画・総合戦略管理事業（みらい会議）	まちの魅力を広く市民が共有する場、行政の取組み状況を行政が報告し、市民が確認する場として開催し、第4次裾野市総合計画後期基本計画及び裾野市総合戦略の計画管理を行う。	会議参加者数	【第1回：8/27開催】83人 【第2回：3/17開催】96人 計 179名	1,061		
				2 立地適正化計画策定事業	人口減少を見据えた持続可能な集約・連携の都市づくりを推進するため、都市全体を見渡しながらか住や医療、福祉、商業などの施設・機能の誘導を図るための計画を策定する。	計画策定状況	庁内検討委員会3回 アドバイザー会議3回 素案を策定。	8,391		
				3 地域公共交通網形成計画策定事業	当市の公共交通の実態調査と、将来の展望を調査研究し、地域公共交通の中長期的な取り組みを示し、人口減少、少子高齢化に対応する「地域公共交通網形成計画」を策定する。	計画策定状況	・委託契約締結（契約者：地域公共交通活性化協議会） ・地域公共交通活性化協議会会議5回開催 ・住民ワークショップ5回開催	4,072		
				4 裾野市農業振興地域整備計画策定事業	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき策定されている裾野市農業振興地域整備計画について、平成28年度の基礎調査に引き続き、計画変更を実施する。	計画策定状況	完了	4,860	基礎調査完了	
				2 職と住の均衡ある地域デザイン	5 北部まちづくり計画事業	北部の都市計画（地区計画・農政協議・河川協議等）に係る関係機関との協議を実施する。	事業の実施状況	都市計画決定の手続きに基づく関係機関との下協議の実施。	5,665	・地区説明会2回実施（7月、8月） ・地権者説明会2回実施（9月、1月） ※各回 2回実施
	2 住みたくなるまちすその	1 住みたくなる住環境の形成、出歩きたくなる地域の創出	1 住みたくなる優良宅地の創出	6 宅地分譲促進事業	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成する。宅地分譲事業に対して助成する。（40万円×25区画）	分譲区画数	25区画		11,900	60区画 (152区画)
				2 環境と調和する住宅建築の促進	7 新エネルギー機器等（防災・減災対応型）導入補助事業	地球温暖化防止対策と防災および減災対策を推進するため、新エネルギー機器の購入費用に対して助成する。	新エネルギー機器等設置住宅数（助成件数）	【104件】 ・太陽光：72件 ・太陽熱：7件 ・蓄電池：29件 ・エネファーム：11件 ※重複補助があるため、合計値は一致しない。	7,090	【91件】 ・太陽光（住宅用）：75件 ・太陽熱：7件 ・蓄電池：39件 ・エネファーム：6件 ・HEMS：30件 ・V2H：0件 ・セット：11件 ※重複補助があるため、合計値は一致しない
				8 住宅建設等促進事業	定住人口の増加及び地域経済の振興を図ることを目的として、住宅の新築等に対して助成する。新築50万円×25戸・耐震補強・リフォーム20万円×55戸	補助金交付件数（新築・改築）	新築：19件 リフォーム：25件（繰越明許） 新築：14件 リフォーム：3件	22,757	住宅建設等促進事業（新築23件、リフォーム25件） 前年度からの明許繰越分（新築19件、リフォーム2件）	

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット
		3 出歩きたくなるまちづくりの推進	9 東西地区(市街化区域)道路整備計画に基づく道路整備事業	市街化区域内未利用地の宅地化及び、安全な通学路確保のため市道1389号線(稲荷・茶畑)、市道2019号線(ニッ屋・佐野)の道路整備を狭隘道路整備補助金を活用し施工する。	①道路整備延長(m) ②道路用地取得面積	① 264m ② 332㎡		55,852	128m
			10 ウォーキング利用を促進するソフト面の取組み	出歩きたくなるまちづくりに向け、ウォーキングマップの整理やイベントの展開などを実施する。	ウォーキング参加者数	寄り道ウォーキング2282人	0	【2,088人】 ・寄り道ウォーキング1,830人 ・地区のウォーキング大会258人	
			11 ウォーキング利用を促進するソフト面の取組み(商工観光課分)	出歩きたくなるまちづくりに向け、ウォーキングマップの整理やイベントの展開などを実施する。	事業実施状況	・須山浅間神社周辺のウォーキングマップの増刷(3,000部)	98	・須山浅間神社周辺のウォーキングマップの増刷(3,000部)	
			12 市内公園等の維持管理事業	都市公園等の維持管理を実施する。(都市公園:19箇所)	維持管理事業の実施件数	【管理委託23件】 【維持修繕23件】 【維持工事 2件】	16,500	【管理委託14件】 【維持修繕20件】 【維持工事 2件】	
		2 まちの骨格をなす幹線道路の整備	1 幹線道路・生活道路の整備推進	13 (仮称)神山深良線整備事業	朝夕の渋滞解消のため、深良地先の市道1-4号線(農免道路)と御殿場市神山地先の道路を整備し、交通の円滑化を図る。	事業実施状況	御殿場市による用地取得・物件補償21名 A=38,127.68㎡	17,927	測量設計3.0km 用地測量23ha ボーリング調査8箇所 平成29年3月13日 御殿場市と事業協定
				14 市道1-26号線整備事業	都市計画街路平松深良線整備に伴う通過車両の生活道路への流入を防ぐため、平松深良線(公文名工区)の終点部と市道1-4号線(農免道路)間を整備する。	①道路整備延長(m) ②道路用地取得面積	① 55m(一部供用開始済み) ② 道路用地面積 648.53㎡ 用地取得率 100%	30,515	・道路用地取得面積=1505.18㎡ ・用地取得率72%
				15 都市計画街路平松深良線整備事業	市内の幹線道路を整備するため、平松深良線のうち市民体育館前通りから千福公文名線、佐野茶畑線から駅東通り間を整備する。	①道路整備延長(m) ②道路用地取得面積	① 0m ② 道路用地面積 公文名工区 0㎡ 用地取得率 85% 滝頭工区 239.62㎡ 用地取得率 85%	50,422	・241.4m(総工事延長) ・53m(供用開始済み) ・道路用地取得面積=348.18㎡ ・用地取得率85%(公文名工区)、81%(滝頭工区)
		2 道路施設の長寿命化	2 道路施設の長寿命化	16 橋梁長寿命化に基づく点検及び計画再策定事業	道路橋の効率的な維持及び修繕を図れるように、5年に1回の定期点検を実施する。	・点検箇所数	【点検76橋】 ・委託35橋 ・職員41橋	16,960	【点検86橋】 ・委託36橋 ・職員50橋
				17 橋梁維持事業(長寿命化修繕)	道路橋の定期点検結果により、修繕の必要があると診断された橋梁において、安全性の向上及び橋梁の延命を目的として、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施していく。	工事実施状況	【設計7件】 ・深良跨線橋 【工事7件】 ・柳橋外6橋	38,092	【設計7件】 ・柳橋外6橋 【工事12件】 ・石橋外11橋

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット		
			18 橋梁維持事業 (東名跨道橋長 寿命化修繕)	道路橋の定期点検結果により、修繕の必要があると診断された東名跨道橋において、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施していく。	工事実施状況	【設計2件】 ・千福橋 ・平林(Ⅱ)橋 【工事委託1件】 ・茗荷沢橋・平林(Ⅰ)橋 NEXCOへの工事委託		121,747	【設計2件】 ・茗荷沢橋 ・平林(Ⅰ)橋 【工事委託1件】 ・瀬戸山(Ⅰ)橋 NEXCOへの工事委託		
			19 道路ストック総点検・補修事業	修繕の必要があると診断された箇所において、安全性の向上及び道路及び構造物の延命を目的に、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施していく。	事業実施状況	【点検】 ・道路照明灯78基		6,932	【点検】 ・道路照明灯54基 【工事】 ・市道1-2号線道路路面補修660m2 ・道路照明灯修繕19基		
			3 市民・企業・行政が一体となった防災・減災の備えの構築	1 防災体制の整備推進	20 防災体制整備事業	第4次被害想定に伴い防災計画を見直し、地震津波対策交付金を活用して防災訓練を実施するとともに、避難所や救護所用防災資機材の充実を図る。	①訓練実施状況	【①実施】 ・関係団体及び自主防災会・市災害対策本部等による県・南駿地域総合防災訓練の実施 ・県の交付金を利用しての、市防災倉庫へ備蓄する防災備蓄品の整備		58,180	【①実施】 ・市災害対策本部運営図上訓練 ・県の交付金を利用しての、市防災倉庫へ備蓄する防災備蓄品の整備
			2 企業・事業所と連携した防災・減災の体制整備	21 防災体制整備事業 ※再掲	第4次被害想定に伴い防災計画を見直し、地震津波対策交付金を活用して防災訓練を実施するとともに、避難所や救護所用防災資機材の充実を図る。	②協定締結数	【②】6件 企業3、郵政公社1、団体2		0	【②】4件 企業1、コンビニ1、ドラッグストア2	
			3 緊急輸送路及び避難路の防災対策の推進	22 橋梁維持事業 (耐震補強)	安全・供用・復旧性の強化をはかるため、緊急輸送路及び避難路上の道路橋の耐震補強設計及び工事を実施していく。	工事実施状況	【設計1件】 ・呼子大橋 【工事1件】 ・ほほえみ橋		25,414	【設計2件】 ・景ヶ島橋外1橋 【工事1件】 ・さいかち橋	
		3 文化資源を守り、育て、活かすまちすその	1 裾野市を象徴する地域資源の保存・活用の推進	1 文化・観光資源の適切な保存・活用	23 観光施設整備管理事業	公園等の案内看板の整備等の施設改修を行う。	①施設改修件数 ②改修内容	①3件 ②景ヶ島溪谷東屋 景ヶ島溪谷駐車場ソフトコーン設置 中央公園フェンス改修		687	1件
					24 指定文化財管理委託事業	重要文化財補松家住宅など市内の貴重な文化遺産を保全、活用するため、管理委託を行う。	①文化財の管理状況 ②文化財の新規指定件数	【①管理委託】 ・清掃等 【②0件】	文化財の指定件数(H30.3) 国2、県3、市14	1,067	【①管理委託】 ・清掃等 【②0件】
					25 景ヶ島溪谷公衆トイレ整備事業	災害による基礎部分の崩落により、H27に解体した公衆用トイレを復元整備し、利便性向上及び衛生美化を図る。	事業実施状況	H28年度繰越明許予算による景ヶ島溪谷公衆トイレの設置		8,864	1件

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット			
2 すべての起点となるひとづくり“共育”	1 人と人の関係を豊かにするまちすその	1 ひとづくり、地域活動支援の推進	1 市民活動団体による地域活動の支援	26 市民活動センター運営事業	NPOやボランティア等による市民協働の推進と地域振興を図るため、市民活動センター設置・運営する。	①市民活動の相談件数 ②事業の実施件数 ③28件 ④事業の実施件数のうち、事業化したものの件数と事業名	①相談件数:246件 ②事業の実施件数:83件 ③28件 ・フューチャーセンター ・富士山すその阿波おどり大会 ・ブース展示 ・市民活動センターだより発行 ・身体障害者野球大会 ・軟式野球大会 ・夏休みサッカー教室 ・夏休み子ども消費者教室 ・ボランティア情報誌発行 ・市内小学校放課後児童室 ・キッズサッカーフェスティバル ・旧植松家住宅ボランティア ※上記の事業の中で複数回実施しているため、計28件となる。		6,145	①相談件数:308件 ②事業実施件数:41件		
				27 市民協働推進事業	市民協働を推進するため、市民協働によるまちづくり研修や、地域づくり学習会・協働事業に補助等を行い協働事業の推進を行う。	事業実施件数	7件			1,437	3件	
				28 新しい公共を担う活動主体育成事業	新しい公共を担うNPO法人や市民活動団体などの活動主体育成に特化した支援事業を実施する	事業実施状況	【市民活動セミナー】 5講座7回実施				3,200	
				29 きれいなまちづくり推進事業	協働による「きれいなまちづくり推進事業(公共空間の環境美化活動)」を推進する。	事業実施件数	4件				824	3件
				2 市内外での裾野ファンの拡大	1 裾野市のあるもの磨きの推進	30 地域資源発掘事業	当市のまち・ひと・しごと創生の主要な視点の一つ「シビックプライド」形成に資する地域資源発掘を行う。	地域資源発掘事業への参加者数 (PRビデオの視聴者数)	【裾野市の資源をPRする動画を作成】 みらい会議(3/17実施)で公表 視聴者数:96人 動画を市公式YouTubeに公開 視聴回数:82回	新たなPR動画は下半期に作成予定		86
	2 シティプロモーションの推進	1 観光振興事業	31 観光振興事業	裾野市を内外に発信し、交流人口増加を目的として、観光振興事業等に取り組む。	観光協会サイト・SNSへのアクセス件数:100件/日	10,613件/日 (HPアクセス数:3,874,000件)			4,607	11,850件/日 (4,325,322件/年)		
	2 シティプロモーション推進事業	32 シティプロモーション推進事業	市の魅力を創出し、ブランド力や認知度のアップを図るため、県内外へ戦略的な情報発信を行う。市マスコットキャラクター“すそのん”の活用やフィルムコミッションなどの充実を図る。	フィルムコミッションのロケ成立件数	30件				4,181	27件		
	3 定住・移住促進事業	33 定住・移住促進事業	移住・定住を促進するため、移住セミナーへの出展、移住促進用パンフレットの作成等各種事業を実施する。	①事業実施状況(出展回数) ②相談件数 ③体験ツアー参加家族数	①4回 ②42件 ③未実施				164	10回 ②43件 ③4組		

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット		
2 みんなで子育てするまち すその			34 首都圏向けラッピングバス運行事業	裾野市のPR及び移住促進を図るため、全面広告の高速バスを通年運行することにより、首都圏への近接性や市の認知度を高める。	運行回数	週に10便(5往復)の運行		908	7月1日より、週に10便(5往復)の運行。		
			1 出合いの場の創出や結婚の環境づくり	1 出合い・結婚期支援の充実	35 恋来い支援センター運営委託事業	恋来い支援センターにおいて、出合いの場の提供や意識啓発セミナー等結婚支援のプラットフォームの構築・運営を行う。	①セミナー・講演会の参加者数 ②セミナー・講演会に参加した結果、婚活への意欲が高まった参加者の割合33.6% ③イベント参加者数 ④婚活イベントの参加を友人等に薦めたいと思った参加者の割合 ⑤結婚相談件数 ⑥相談の結果、結婚に対する活動に前向きになった者の割合100% ⑦参加目標人数の達成率82.4% ⑧次も参加したいと思った参加者の割合63.2% ⑨本事業をきっかけとしたカップルの数24組 ⑩講座、セミナーに参加した人で婚活事業に参加した人数 ⑪恋愛に関し自信が持てるようになったと答えた参加者の割合	①セミナー・講演会の参加者数56人 ②セミナー・講演会に参加した結果、婚活への意欲が高まった参加者の割合33.6% ③イベント参加者数132人 ④婚活イベントの参加を友人等に薦めたいと思った参加者の割合48.3% ⑤結婚相談件数9件 ⑥相談の結果、結婚に対する活動に前向きになった者の割合100% ⑦参加目標人数の達成率82.4% ⑧次も参加したいと思った参加者の割合63.2% ⑨本事業をきっかけとしたカップルの数24組 ⑩講座、セミナーに参加した人で婚活事業に参加した人数39人 ⑪恋愛に関し自信が持てるようになったと答えた参加者の割合46.7%	2,500	①14件 ②148人 ③11組 ④43人 ⑤36%	
			2 妊娠・出産育児の切れ目ない相談・支援の充実	1 妊娠・出産期支援の充実	36 母子保健事業(ババママスクール事業)	妊娠・出産・育児に関する不安を解消するため、初妊婦とその夫、家族を対象とした講座をババママスクールの一部として開催する。	初妊婦の参加率	39.20%		62	初妊婦の参加率37.2%
					37 母子保健事業費(不妊治療費助成事業)	不妊症及び不育症治療費の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成する。	助成件数	申請件数139件 妊娠件数35件		12,137	申請件数124件 妊娠件数23件

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 概要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット	
			38 母子保健事業(その他)	妊娠から出産、育児まで一貫して安心安全に暮らせるため、相談・訪問・各種健康診査等の事業を実施する。	事業実施状況	【妊婦健診】 受診率82.6% (受診券交付者7,042人受診者5,820人) 【4か月児健診】 受診率98.1% (対象者463人、受診者454人) 【10か月児健診】 受診率93.7% (対象者460人、受診者431人) 【1歳6か月児健診】 受診率98.1% (対象者429人、受診者421人) 【3歳児健診】 受診率98.7% (対象者472人、受診者466人)		50,909	・妊婦健診:受診券交付者6,954人、受診者5,472人、受診率78.7% ・4か月児健診:対象者485人、受診者443人、受診率91.3% ・10か月児健診:対象者492人、受診者485人、受診率98.5% ・1歳6か月児健診:対象者509人、受診者500人、受診率98.2%。 ・3歳児健診:対象者497人、受診者499人、受診率100.4%	
			2 子育て期(乳幼児期)支援の充実	39 乳幼児医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り乳幼児の健全な成長に寄与するため医療費を助成する。	助成件数	64,430件		106,522	67,488件
			40 裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金	私立幼稚園の保護者の経済的負担を軽減するため授業料・施設設備費補助を行う。	①補助件数 ②実施率	①252件 ②100%		10,231	①278件 ②100%	
			41 裾野市認証保育施設支援事業	子育て環境を整備するため、市内の認可外保育所施設のうち、一定の基準を満たす施設を認証し、運営費を補助する。	①待機児童数:0 ②認証保育所数	①0(H29.4.1時点) ②2箇所		8,000	①0(H28.4.1時点) ②3箇所	
			42 子ども連れ親子交流促進事業	子育て世帯を対象としたイベント事業の開催などにより、乳幼児を連れて親子の利用を促進し、親子の交流や本に触れる機会の増加を図る。	事業実施状況 事業参加者数 入館者数	おはなしの会毎月実施 おはなしの会等事業参加者数 1,057人 入館者数 本館:101,346人 文化: 36,721人	おはなしの会、教室(折り紙、科学あそび等)、ぬいぐるみお泊り会 等	271		
			43 ファーストブック事業	6か月の赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本に出会う機会をつくり親子のふれあいを図る。	ファーストブック参加率:85%	ファーストブック参加率:75.5%	絵本2冊、ブックリスト、コットンバックをプレゼント。	812	ファーストブック参加率:78.6%	

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプット の指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウト プット		
		3 子育て期(学童期～思春期)支援の充実	44 ライフワーク・作家の講演会企画運営事業	裾野市民が、興味を持ち参加できるような身近なテーマで講演会を企画し、カフェのような気軽な雰囲気を出し開催することで、図書館の継続的な利用を促進する。	事業参加者数	ビブリオバトル実施(8月)参加者45人 親子読書講演会実施(1月)47人	ビブリオバトル、読書講演会、サイエンスカフェ	177			
			45 こども医療費助成事業	保護者の負担軽減を図り小中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成する。	助成件数	53,815件			108,257	56,332件	
			46 放課後児童健全育成事業	昼間保護者がいない家庭の低学年児童を預かることにより安全で豊かな放課後生活を確保する。	事業実施状況	実施中 入室児童数 378人 開室児童室 11児童室 待機児童解消対策として、7月より西小学校第二放課後児童室が開室した。				38,874	
			47 夏季限定放課後児童対策事業	東小・向田小の3年生以上の児童を対象に、夏休み期間限定の放課後児童室を試行的に開室する。	事業実施状況	実施済 入室児童数:30人 運営を民間事業者へ委託した。				800	
			48 みらいのババママスクール事業	若年層に対する「結婚から育児まで」の意識を高め、将来「親」となることの大切さを理解してもらうため、中学生を対象に結婚・妊娠・出産・育児について学ぶ「みらいのババママスクール」を開催する。	①連携体制を構築する母親サークル団体数 ②参加生徒数・参加率 ③参加生徒のうち、意識変容がみられる生徒の割合 ④参加生徒のうち、子育てに対する理解が高まった生徒の割合 ⑤赤ちゃんとふれあいを通じて、乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合 ⑥親になりたい気持ちが強くなった割合 ⑦命の大切さを感じることができた割合	①1団体 ②516人 103% ③81% ④90% ⑤51% ⑥63% ⑦87%(命の大切さ=自分を大切に、周りの人を大切に思う気持ち)			380	②465人 ⑥45% ⑦84%	

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット
			49 親子読書推進・子育て支援事業	子育て世帯の親子を中心に、ゆっくり本を読んだり、楽しく話ができる場所をつくり開放し、読み聞かせを支援する。	事業実施状況	H29.4～H30.3月まで月3回実施。(7月のみ2回) 親子421人参加	親子ふれあいデー(開放スペースにジョイントマット・絵本・おもちゃを用意し、飲食スペースを確保。)	237	5～29.3月まで月2回実施。(8月のみ1回) 親子235人参加
		4 子育てに関する情報発信・相談体制の充実	50 地域における子育て相談体制強化事業	子育て支援員をイベントに配置することに加えて、保健師と連携の下、家庭訪問を実施し、母親の孤立感や育児不安の解消に努める。また、同時に、地域社会で気軽に相談できる相手を増やすため、子育て支援サポーター(平成29年度より子育て支援パートナーから名称変更)の養成も継続させる。	①支援員配置・派遣箇所数 ②支援員が対応した件数 ③サポーター養成講座参加者数 ④養成講座終了後のアンケート回収率 ⑤養成講座終了後アンケートで、他の人にもすすめたいと思った人の割合 ⑥養成講座終了後アンケートで、講座を受けてよかったと思った人の割合(質の確認) ⑦子育てサポーターが子育て中の母親と積極的に関わろうとした意識の変容 ⑧子育てサポーターが積極的に子育てイベントやボランティアに参加した件数	①30回 ②18件 ③10人 ④100% ⑤100% ⑥100% ⑦50% ⑧58件		198	①7か所 ②101件 ③62人
			51 子育て支援情報発信事業(スマホアプリ)	子育て世代が持つ、子育てに対する不安や孤立感を解消するため、行政と市民で情報の双方向性を持つスマートフォンアプリを更に充実させ、子育て支援を行います。	①アプリ利用者数(ダウンロード数) ②プッシュ通知回数 ③お知らせ件数	①525件(累計2,110件) ②27回(累計67件) ③26件(累計53件)		1,679	1,018件/年 (累計1,585件)
		3 子育て世代がいきいき活動できる環境の整備	1 子育て世代の多様なライフスタイルづくりの支援	52 子育て中の母親ネットワーク事業	子育て中の母親のネットワーク構築を促すため、各種講座を行う。また、講座の開設だけではなく手芸作品や食品の展示・販売する機会を設け、小規模生産でのネットワーク形成を促進する。	事業参加者数	未実施 みんなで子育てするまち推進事業にて実施		来場者1,040人 出展者56件 企業協力14社
			53 みんなで子育てするまち推進事業	子育てにやさしいまちの実現に向けて、地域全体が子育てを応援し、男性も女性も家庭と仕事の両立ができる機運を醸成するための各種事業を長泉町と合同で実施する。	①イベント参加者数 ②理解が進んだ参加者比率 ③女性活動団体創出件数	①2,376人 ②51% ③1		4,373	①2,141人 ②97.0% ③0

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 摘要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット
		2 企業・事業所におけるワークライフバランスの実現に向けた取組みの支援	54 みんなで子育てするまち推進事業 ※再掲	子育てにやさしいまちの実現に向けて、地域全体が子育てを応援し、男性も女性も家庭と仕事の両立ができる機運を醸成するための各種事業を長泉町と合同で実施する。	①イベント参加者数 ②理解が進んだ参加者比率 ③女性活動団体創出件数	①2,376人 ②51% ③1		再掲	①2,141人 ②97.0% ③0
3 子ども達の生きる力を育むまちその	1 豊かな心を育む教育の推進	1 未来を担う子ども達の生きる力の育成	55 ほんものどふれあう学習事業	児童・生徒が文化・芸術を鑑賞したり、外部講師(トップアスリート・芸術家など)の講演を聴くなど、ほんものどふれ合う機会を設定する。小学校等でアーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化(おんかつ)事業」を同時に実施する。	事業参加者数	市内全児童・生徒4,316人		1,800	児童・生徒数4,281人 ほんものどふれあう事業(学校教育課分)
			56 ほんものどふれあう学習事業(生涯学習課分)	児童・生徒が文化・芸術を鑑賞したり、外部講師(トップアスリート・芸術家など)の講演を聴くなど、ほんものどふれ合う機会を設定する。小学校等でアーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化(おんかつ)事業」を同時に実施する。	事業参加者数	【公共ホール音楽活性化事業】 参加児童・生徒:215人	おんかつ事業は1月に実施予定	1,080	【リオ五輪選手講演会】 2件 計174人 【公共ホール音楽活性化事業】 参加児童・生徒:151人
			57 幼児を対象とした外国文化ふれあい事業	保育園・幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、挨拶や簡単な会話、歌、ゲームを楽しむことを通じて、幼少期から外国語や異文化に慣れ親しむ機会をつくる。	開催回数	年間:237回 幼稚園:127回 保育園:107回 児童館:3回		2,973	【223回】 ・保育園106 ・幼稚園111 ・児童館6
			58 外国語教育・海外交流事業	小中学校の英語教育の充実に向け、質の高いALT業者をプロポーサル方式により選定する。	事業参加者数	・ALT委託会社は2社 ・対象児童生徒数は小学校5・6年生と中学校全学年が対象で計2,372名		16,098	ALT委託会社:2社 対象児童生徒数: 2,416人 (小学校5・6年生と中学校全学年が対象)
			59 特別支援員配置事業	児童生徒の学力向上の一環として、落ち着いた学習環境を確保するため特別支援員を配置する。(小学校10名)	特別支援員数	小学校10名 年間を通じて配置。		13,697	小学校10名。 年間を通じて配置。 (対象児童数:211人) 事業費:16,300,000円
			60 裾野市地域学校支援事業	地域ぐるみで学校の教育活動に関わるボランティア活動を促進する。	活動回数	実行委員会(年2~3回開催、その他の各学校個別の活動については随時実施)		923	実行委員会(年2~3回開催、その他の各学校個別の活動については随時実施)
			61 ふれあい教室事業	不登校対策事業の一環として適応指導教室を開設し、教育相談員を配置することによって、不登校状態にある児童生徒及び保護者への教育相談、並びに児童生徒への学習指導・生徒指導の強化を図る。	対象となった児童数	通級17名 相談:14件、58回	人件費、旅費(県内)、津新運搬費(電話代)、修繕費(維持)、消耗品費、光熱水費、賃借料(土地建物)、備	6,589	通級9名 相談25件、計94回

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 概要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット
	2 学校の教育力の向上	1 学習環境の整備	62 「学びの森」運営事業	子どもに質の高い教育を提供していくために、「学びの森」を設置・運営する。「学びの森」では専門的な指導員を配置し、①教職員の研修体制の充実 ②学校と地域の連携協力の推進 ③児童生徒、保護者との教育相談を進める。	①相談件数 ②研修事業参加者数	①12件 ②509名(訪問研修・昼のカフェ・夜のカフェ・2.3年目研修会・市研修主任研修会・市講師支援員研修会に参加した者の延べ人数)	人件費、旅費(県内)、通信運搬費(電話代)、コピーチャージ、消耗品費、備品費	14,645	①19件 ②357名(訪問研・昼のカフェ・夜のカフェ・2.3年目研修会・市研修主任研修会・市講師支援員研修に参加した者の延べ人数)
			63 学力向上ボランティア事業	自主的な学習を希望する児童生徒の指導のために、放課後や夏休みなどに学力向上ボランティアを配置し、きめ細やかな学習支援体制をつくる。	対象となった児童数	小学校:7,666名 中学校:2,796名 ※延べ人数	学力向上ボランティア:14校、計40名	767	小学校:365名 中学校:538名 ※一部延べ人数を含む 概算
			64 非常勤講師派遣事業	TTIによる学習支援及び児童の生活支援を行う。	対象となった児童数	各小中学校に配置 全67名(学びの森、ふれあいを除いた臨時職員の数) 対象となった児童生徒数:全児童生徒数の合計4,316人	85,330	各小中学校等に配置 全72名 対象となった児童生徒数:全学校の全児童生徒計4,370人	
			65 学力向上支援事業	児童生徒の学力の向上を図るため、少人数指導等、きめ細やかな指導に当たる学力向上支援員(講師)を配置する。(小学校3名、中学校1名)	①授業が分かる と答える児童生徒の割合(少85%、中80%) ②家で復習していると答える児童生徒の割合(少70%、中70%)	①小学校78.9% 中学校68.6% ②小学校53.1% 中学校40.5%	9,815	学力向上支援員(小学校3名、中学校1名) ①小学校:76.4%、中学校:64.7% ②小学校:52.4%、中学校:44.1%	
			66 不登校・問題行動等対策事業	学校支援相談員2名を配置し、市内の教育現場の抱える諸問題(問題行動等)の改善を図る。	改善件数	関わった件数 50件 改善した件数 34件	1,957	H27:199件 H28:157件 ※昨年度より減少傾向	
			3 まちやひとを豊かにする産業づくり “共栄”	1 企業・事業所とともに歩むまち すその	1 企業・事業所の事業活動環境の整備	67 企業立地促進事業	企業の誘致及び立地維持を図るため、事業用地取得費、建物機械設備取得費等に対し助成する。	補助件数	3件
2 中小企業等への支援	68 中小企業支援事業	産業の発展や多様化を促進するため、経営革新・技術開発等に取り組む市内中小企業に対し、利子補給や補助等の支援を実施する。				補助件数	特別政策:5件 販路拡大:2件 経営革新:3件	アウトプット内訳 経営革新計画 補助2件	3,280
2 地域資源を活用した豊かな産業のまち すその	1 地域資源を活かした稼ぐ力の創出	1 自然環境を強みにした産業振興		69 景観作物促進事業	「裾野市ハノラロードを花でいっぱいにする会」の運営に対して補助を行う。	①景観作物の作付面積(ha) ②補助件数	①コスモス 1.42ha 菜の花 1.42ha ※コスモスは9月まで、10月から菜の花を作付 ② 1件	コスモス 1.42ha 菜の花 1.42ha ※コスモスは9月まで、10月から菜の花を作付	1,330

A 基本目標	B 施策の方向	C 主な施策	D 実施事業	E-1 内容 (行政が行うこと、生産するもの)	E-2 アウトプットの指標 (E-1の量)	E-3 アウトプット	E-4 概要	E-5 決算額 (千円)	【参考】過年度のアウトプット
			70 特産作物奨励助成事業	水田において、市で奨励する特定作物の生産や販売をする農業者への助成。	①対象作物の作付面積(ha) ②助成件数	①ヤマトイモ1.0ha イチゴ1.8ha モロヘイヤ0.2ha 酒米0.9ha ② 33件	ヤマトイモ1.0ha イチゴ1.8ha モロヘイヤ0.2ha 酒米0.9ha	500	3.76ha
			71 地域農業担い手支援事業	将来の農業の担い手を確保するため、農業用機械・施設導入費用や販路拡大のための展示会出展費用等に対して助成する。	補助件数	・農業用機械・施設導入 機械補助 1件 設備補助 1件 ・出展支援補助 1件	・農業用機械・施設導入 機械補助 1件 設備補助 1件 ・出展支援補助 1件	2,100	7件
			72 地域戦略作物活性化事業	薬用作物とそばを地域戦略作物に位置付け、同作物の作付に対する補助を行うことにより、耕作放棄地の解消、農産物の6次産業化・新たな特産物の創出を図る。	①作付面積:12ha ②補助件数	そば16.1ha 24件 薬用作物0.3ha 1件	そば16.1ha 薬用作物0.3ha	2,483	15.5ha ・そば 15.2ha ・薬用作物 0.3ha
			73 交流人口拡大イベント事業	地域資源を活用した観光振興を図るため、「パノラマロード」「中央公園」「市内ゴルフ場」を活用した観光イベントの開催し、交流人口の拡大を目指す。	イベント来場者数	11,104人 みどりまつり9,000人 菜の花まつり500人 コスモスまつり1,500人 ゴルフスタンプラリー104人	(菜の花まつり1日中止、コスモスまつり1日中止)	3,896	22,110人
			2 地理的優位性、地勢を活かした産業振興	74 裾野市発 屋上緑化推進事業	平成27年度から地方創生事業として、軽量・薄層技術による付加価値の高い緑化作物の栽培方法を確立するため、試験圃場の整備、栽培に取り組んでいる。平成29年度は事業者組織の運営支援と同時に、販路開拓・拡大等の事業化を加速させ、農業者の収益拡大、雇用の拡大を図る。	遊休地の再利用面積: 0.4ha	0.4ha	梅の里試験圃場	10,063
3 働くひとのチャレンジを応援するまちすその	1 誰もが新たなしごとにチャレンジできる環境の整備	1 新たなしごとへのチャレンジの支援	75 産業連携地域プラットフォーム運営事業(産業基本計画に基づく産業の活性化)	富士山のすそ野で分野を越えたイノベーションが起こるまちとして魅力を高め、新たな事業創造や起業を呼び込み続ける地域、企業と地域産業の連携促進を図るために、「産業連携地域プラットフォーム」を設立する。同時に個人事業者及び中小企業の起業や販路拡大を支援し、市内産業の活性化を図るため、専門機関と連携した相談会等を実施する。	事業実施状況	・いわなみキッチン開所式実施 ・いわなみキッチンアカデミー11回開催 ・スタートアップキャンプ運営支援 ・中小企業相談442件 ・コミュニティビジネス講座3回 ・地域活性化バー2回 ・レンタルスペース50回 ・自主企画事業17回	【いわなみキッチンアカデミー】ビジネスに関する講習会 【スタートアップキャンプ】首都圏在住者による起業を考えるキャンプ	25,390	プラットフォーム拠点施設リノベーション、裾野の産業の未来を考えるまるかつて塾7回開催、裾野未来勉強会3回開催、事業者アンケート、自主企画イベント